



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1976 URL http://www.meisei-kogyo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 印田 博 TEL 06-6447-0275  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年11月24日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,035	△6.7	2,155	△14.2	2,235	△21.0	1,476	△17.6
27年3月期第2四半期	22,556	20.6	2,512	59.7	2,829	68.6	1,793	99.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,305百万円 (△23.5%) 27年3月期第2四半期 1,705百万円 (20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	27.80	27.75
27年3月期第2四半期	33.00	32.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	52,700	36,726	69.3	686.72
27年3月期	53,052	35,613	66.8	666.95

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 36,516百万円 27年3月期 35,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△6.1	4,100	△28.2	4,200	△32.6	2,700	△35.4	50.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	59,386,718株	27年3月期	59,386,718株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,211,315株	27年3月期	6,290,935株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	53,117,167株	27年3月期2Q	54,341,178株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 受注及び売上の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れするなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、国内外の需要分野において積極的な営業活動を展開いたしました。当第2四半期連結累計期間の受注高は、主にボイラ事業の減少が影響し20,919百万円（前年同期比27.3%減）の計上にとどまりました。売上高は、建設工事業における大型工事の進捗が堅調であったものの、ボイラ事業における大型工事減少により21,035百万円（同6.7%減）の計上となりました。

また、売上高の減少に伴い、営業利益は2,155百万円（前年同期比14.2%減）となり、経常利益は2,235百万円（同21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,476百万円（同17.6%減）の計上にとどまりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①建設工事業

LNG関連工事が堅調に推移したものの売上高は17,950百万円（前年同期比1.9%減）の計上となり、セグメント利益は1,788百万円（同8.4%減）の計上となりました。

## ②ボイラ事業

国内における大型案件の減少が影響し、売上高は3,085百万円（前年同期比27.5%減）の計上となりました。

また、売上高の減少に伴いセグメント利益は319百万円（同37.6%減）の計上にとどまりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は34,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ395百万円減少いたしました。主な要因は未成工事支出金の増加735百万円、現金預金の減少758百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少446百万円等であります。固定資産は17,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。

この結果、資産合計は52,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は12,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ516百万円減少いたしました。主な要因は未成工事受入金の増加683百万円、短期借入金の増加556百万円、未払法人税等の減少894百万円、支払手形・工事未払金等の減少192百万円、買掛金の減少175百万円、役員賞与引当金の減少64百万円等であります。固定負債は3,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ948百万円減少いたしました。主な要因は長期借入金の減少830百万円、繰延税金負債の減少69百万円、退職給付に係る負債の減少62百万円等であります。

この結果、負債合計は15,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,464百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は36,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,112百万円増加いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の増加1,476百万円、剰余金の配当による減少212百万円、その他の包括利益累計額の減少187百万円等であります。

この結果、自己資本比率は69.3%（前連結会計年度末は66.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び上記今後の見通しを勘案した結果、平成27年5月8日付「平成27年3月期 決算短信」において発表いたしました数値を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	44,000	3,900	4,000	2,500	47	08
今回修正予想 (B)	44,000	4,100	4,200	2,700	50	80
増減額 (B - A)	—	200	200	200	—	—
増減率 (%)	—	5.1	5.0	8.0	—	—
前期実績	46,873	5,711	6,231	4,176	77	68

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業連結会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	16,601	15,843
受取手形・完成工事未収入金等	16,432	15,986
有価証券	142	34
未成工事支出金	1,275	2,011
商品及び製品	248	302
原材料及び貯蔵品	136	116
繰延税金資産	312	236
その他	126	338
貸倒引当金	△48	△38
流動資産合計	35,227	34,832
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,104	8,109
機械・運搬具	4,424	4,377
土地	11,374	11,374
その他	1,027	1,071
減価償却累計額	△10,822	△10,895
有形固定資産合計	14,109	14,038
無形固定資産		
	61	58
投資その他の資産		
投資有価証券	3,259	3,169
繰延税金資産	65	56
その他	367	584
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	3,653	3,771
固定資産合計	17,824	17,868
資産合計	53,052	52,700

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,887	5,695
支払信託	565	593
買掛金	746	570
短期借入金	798	1,354
未払法人税等	1,601	707
未成工事受入金	1,013	1,697
完成工事補償引当金	140	110
賞与引当金	382	395
役員賞与引当金	64	—
工事損失引当金	18	2
その他	1,382	957
流動負債合計	12,601	12,084
固定負債		
長期借入金	830	—
退職給付に係る負債	995	933
役員退職慰労引当金	320	322
繰延税金負債	2,107	2,037
再評価に係る繰延税金負債	509	509
資産除去債務	23	23
その他	51	62
固定負債合計	4,837	3,888
負債合計	17,438	15,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	999	1,001
利益剰余金	26,985	28,249
自己株式	△2,015	△1,990
株主資本合計	32,859	34,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	880	728
土地再評価差額金	933	933
為替換算調整勘定	747	706
退職給付に係る調整累計額	△7	△1
その他の包括利益累計額合計	2,553	2,366
新株予約権	23	16
非支配株主持分	178	193
純資産合計	35,613	36,726
負債純資産合計	53,052	52,700

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
完成工事高	22,556	21,035
完成工事原価	18,026	16,832
完成工事総利益	4,529	4,203
販売費及び一般管理費	2,017	2,047
営業利益	2,512	2,155
営業外収益		
受取利息	12	22
受取配当金	63	60
不動産賃貸料	59	60
為替差益	176	—
その他	78	35
営業外収益合計	391	179
営業外費用		
支払利息	8	7
不動産賃貸原価	29	30
為替差損	—	34
その他	36	27
営業外費用合計	74	99
経常利益	2,829	2,235
特別損失		
投資有価証券評価損	43	1
特別損失合計	43	1
税金等調整前四半期純利益	2,785	2,234
法人税、住民税及び事業税	938	657
法人税等調整額	48	84
法人税等合計	987	741
四半期純利益	1,798	1,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,793	1,476



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,798	1,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△152
為替換算調整勘定	△57	△41
退職給付に係る調整額	13	5
その他の包括利益合計	△92	△187
四半期包括利益	1,705	1,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700	1,289
非支配株主に係る四半期包括利益	4	15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,785	2,234
減価償却費	151	147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△10
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△8	△16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	2
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△18	△80
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△39	△53
受取利息及び受取配当金	△76	△83
支払利息	8	7
為替差損益 (△は益)	△103	1
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	43	1
売上債権の増減額 (△は増加)	1,103	446
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△771	△735
たな卸資産の増減額 (△は増加)	37	△33
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	327	683
仕入債務の増減額 (△は減少)	661	△347
その他	△200	△654
小計	3,876	1,509
利息及び配当金の受取額	76	83
利息の支払額	△8	△7
法人税等の支払額	△1,088	△1,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,856	55
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,041	△1,284
定期預金の払戻による収入	1,570	1,497
投資有価証券の取得による支出	△209	△285
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	248
有形固定資産の取得による支出	△143	△59
その他	△9	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	168	104
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	150
長期借入れによる収入	800	100
長期借入金の返済による支出	△824	△524
自己株式の取得による支出	△313	△0
ストックオプションの行使による収入	1	20
配当金の支払額	△272	△212
その他	—	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608	△456
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	△50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,517	△346
現金及び現金同等物の期首残高	9,530	14,881
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,037	14,535

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	18,300	4,255	22,556	—	22,556
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27	108	135	(135)	—
計	18,328	4,363	22,691	(135)	22,556
セグメント利益	1,953	511	2,464	47	2,512

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,950	3,085	21,035	—	21,035
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	69	76	(76)	—
計	17,957	3,155	21,112	(76)	21,035
セグメント利益	1,788	319	2,108	47	2,155

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 受注及び売上の状況

## a. 受注高

区 分	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成27年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	21,464	74.5	18,796	89.9	△2,667	44,608	82.6
ボイラ事業	7,329	25.5	2,122	10.1	△5,206	9,370	17.4
合 計	28,793	100.0	20,919	100.0	△7,874	53,978	100.0

## b. 売上高

区 分	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成27年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	18,300	81.1	17,950	85.3	△349	37,384	79.8
ボイラ事業	4,255	18.9	3,085	14.7	△1,170	9,489	20.2
合 計	22,556	100.0	21,035	100.0	△1,520	46,873	100.0